

令和元年度 第35回

佐世保市中心市街地 通行量調査結果



休日は微増、平日は11%増加!

本年の通行量調査結果は、調査地点6ヶ所の総合計で休日[8月18日(日)]は**51,790人**となり前年より**1,358人(2.7%)**微増で3年連続の増加となった。また平日[8月19日(月)]の合計通行量は**46,679人**で前年より**4,679人(11.1%)**増加していた。

調査日は曇りの時間が長く、2日間の平均気温は26.2℃(8月平均27.7℃)と比較的過ごしやすかった。

8月19日(月)は三浦岸壁にクルーズ船「コスタ・ベネチア」(船客数約5,260人)の姿が見られた。昨年調査期間は日曜日に「スカイシー・ゴールドデン・エラ」(船客数約1,800人)が、月曜日に「チャイニーズ・タイサン」(船客数約990人)が寄港していた。

■令和元年8月19日(月)
コスタ・ベネチア(13万2千ト)
入港:午前8時
出港:午後8時
船客数:約5,260人



通行量調査当日の状況

	18日(日)	19日(月)
天候	曇り(晴れ)	曇り一時雨(晴れ)
休業店四ヶ町	1店舗(2店舗)	1店舗(2店舗)
休業店三ヶ町	11店舗(5店舗)	5店舗(3店舗)
イベント	島瀬公園等でのイベントは開催されていない	

※()内はH30年

通行量調査の概要

◆調査の目的

商店街の通行量を時系列的に測定し、街区毎の変化を把握することによって、今後の商店街活性化策の一助に供する。また、今年度も佐世保駅周辺の通行量調査を行い、今後の開発事業における効果測定の指標とする。

◆調査の時期

毎年、お盆明けの直近の日曜(休日)、月曜(平日)の2日間。本年は、8月18日(日)・19日(月)。調査時間は両日も午前10時～午後5時まで。

◆調査地点

四ヶ町(4ヶ所)、三ヶ町(2ヶ所)、佐世保駅周辺(3ヶ所)

◆事業実施主体

佐世保商工会議所

◆事業協力

させほ四ヶ町商店街(協)、佐世保三ヶ町商店街(振)

◆調査協力

長崎県立佐世保商業高等学校、長崎県立大学

● 中心商店街アーケード内の傾向

(1) 休日[8月18日(日)]の傾向

18日(日)のアーケード内合計は昨年より1,358人(2.7%)の増加となった。双方向増加となったのはA地点(長崎銀行前)、B地点(TV佐世保前)、C地点(親和銀行本店前)。最も増加率が高かったのはA1地点(長崎銀行前、佐世保市役所⇒佐世保駅方向)12.4%、次にA2地点(長崎銀行前、佐世保駅⇒佐世保市役所方向)11.1%。一方E地点(くっけん広場前)とF地点(四ヶ町入口)は双方向とも減少した。

方向的には1方向(佐世保市役所⇒佐世保駅方向)が6地点合計で昨年より732人(2.8%)増加。2方向(佐世保駅⇒佐世保市役所方向)も合計で昨年より626人(2.5%)増加した。

(2) 平日[8月19日(月)]の傾向

19日(月)のアーケード内合計も昨年より4,679人(11.1%)増加した。A1地点(長崎銀行前、佐世保市役所⇒佐世保駅方向)以外の全地点で増加となっている。双方向合算でみるとF地点(四ヶ町入口)とE地点(くっけん広場前)の増加率(F地点21.6%、E地点13.5%)が特に高い。

方向的には1方向(佐世保市役所⇒佐世保駅方向)が6地点合計で昨年より1,979人(8.9%)増加。2方向(佐世保駅⇒佐世保市役所方向)も合計で昨年より2,700人(13.6%)増加した。

(3) 調査地点別傾向

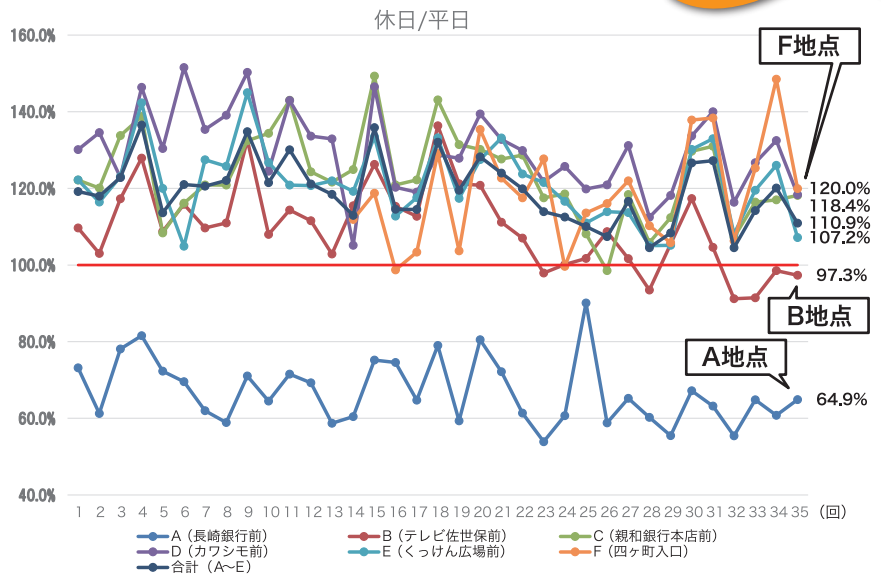
休日の通行量が多かった順に、①C地点(親和銀行本店前)14,816人、②D地点(川下レコード店前)14,156人、③E地点(くっけん広場前)8,222人、④F地点(四ヶ町入口)6,777人、⑤B地点(テレビ佐世保前)6,214人、⑥A地点(長崎銀行前)1,605人となった。

平日の場合は①C地点(親和銀行本店前)12,538人、②D地点(川下レコード店前)11,961人、③E地点(くっけん広場前)7,673人、④B地点(テレビ佐世保前)6,385人、⑤F地点(四ヶ町入口)5,649人、⑥A地点(長崎銀行前)2,473人の順となった。

また休日と平日を比較すると休日の通行量の方が多かったのがC地点(親和銀行本店前)～F地点(四ヶ町入口)までの4地点。平日の方が多かったのがA地点(長崎銀行前)とB地点(テレビ佐世保前)の2地点となった。休日/平日の比率が最も高かったのはF地点(四ヶ町入口)で休日に平日の1.2倍の通行量があった。他方A地点はこれまでの35回の調査全てで平日の通行量の方が多い。またB地点で平日通行量が休日通行量を上回るのは熊本地震のあった平成28年第32回から4年連続となる。今後もこの傾向が続くのか注視が必要である。

(3)-1 休日・平日比較グラフ

(休日に平日の何%の通行量があるか)



(3)-2 休日/平日平均値 (休日に平日の何%の通行量があるかの平均値)

	第14回(H10)～五番街開業前 (H25第29回)の休日/平日平均値	五番街開業後(H26第30回)～ 第35(R1)の休日/平日平均値	増減
A(長崎銀行前)	67.0%	62.7%	-4.3%
B(テレビ佐世保前)	111.0%	100.1%	-10.9%
C(親和銀行本店前)	122.4%	119.9%	-2.4%
D(カワシモ前)	125.0%	127.9%	3.0%
E(くっけん広場前)	119.1%	120.7%	1.6%
F(四ヶ町入口)	114.8%	129.4%	14.6%
合計(A～F)	117.2%	117.3%	0.1%

五番街開業後は三ヶ町側は平日利用の性格が強くなり、四ヶ町側は休日利用の性格が強くなった。

特にF地点(四ヶ町入口)の休日利用が多く、休日に五番街とアーケードを行き来する層の存在が窺える。他方B地点の変化の要因は五番街だけでなく、サンクル開業(H25.11～H26.4)も影響している。サンクル開業後はB地点の休日、平日とも通行量が増えたが、特に平日の増加量が多かった。



休日: R1.8.18(日) 10:00～17:00(7時間)


国道35号線



● マチなかでの取組み

国内多くの商店街では通行量が減少しているものと思われます。お客様の消費傾向やお買い物の仕方が大きく変化していることありますが、人口減少・高齢社会が進んでいることも大きな要因です。そのような中、各地域で地方創生に向けた活動をされているところですが、佐世保市でも様々な団体が各種事業に取組み、マチに人が来るための仕掛けづくりをされていますのでご紹介します。

第5回 SASEBOまちなかウォーキングスタンプラリー





本イベントは、2015年(平成27年)にSASEBOまち元気向上委員会で開催された「SASEBOまちなかウォーキングスタンプラリー」の第5回目となる取組みです。例年より規模を拡大され、より多くの方にご参加いただき、マチ歩きを楽しんでいただきながら、回遊性の向上とマチなかの賑わいづくりに向け開催されました。マチなかを歩いて、見て知る…をコンセプトとして、佐世保のマチなか約1.7km～3.0kmを歩いて各所でスタンプを獲得、またクイズを解きながらゴールを目指すものです。参加賞やWチャンス特典、5周年を記念したプレミアム商品も準備し、佐世保の魅力を参加者に知っていただくことが目的の1つです。

佐世保のマチなかを訪れる人が増えることで滞在消費や交流人口増加に繋げ、佐世保の街の活性化に繋がることを目的とされています。

本年は、例年以上にイベントを盛り上げ地域活性化や賑わいづくりに向けた取組みを目標とし、委員会にて検証会議を重ねられました。また、長崎県立大学・長崎国際大学の学生が授業の一環としてイベント企画に加わり、若いアイデアと行動力で、イベントは成功裏に終了されました(総参加人数:1,075名)。

開催日：令和1年6月15日(土)
主 催：SASEBOまち元気向上委員会

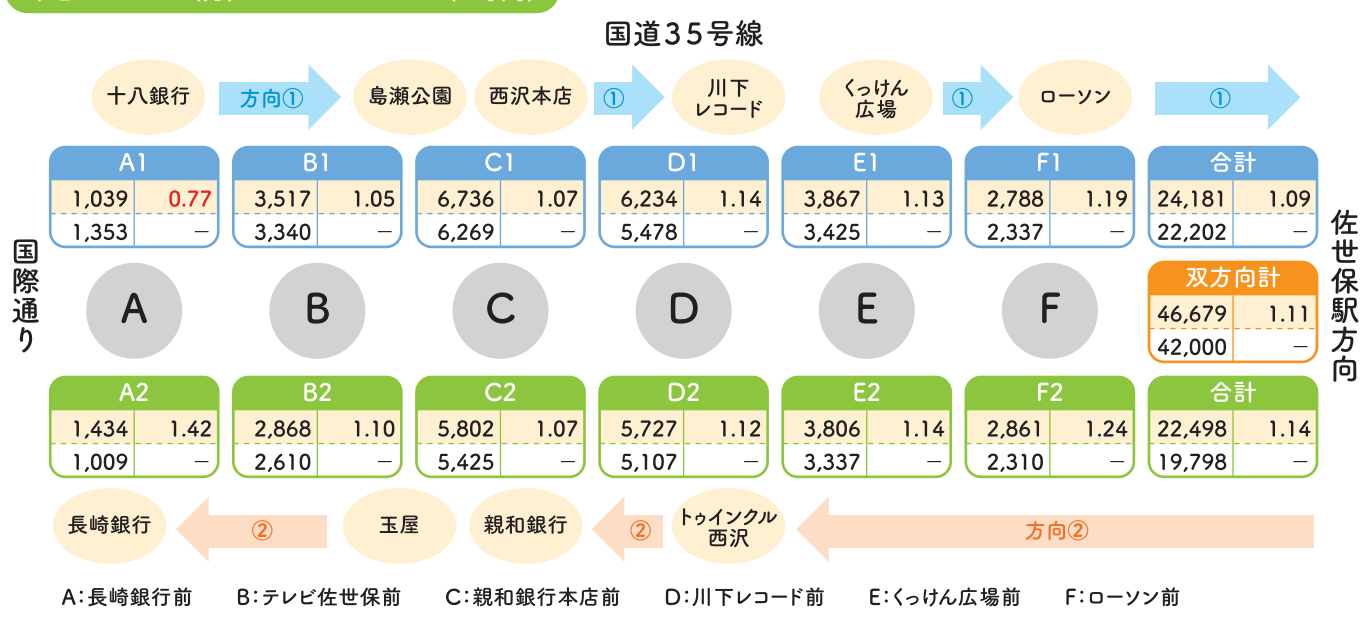



第1回(平成27年) 1時間54分
第2回(平成28年) 2時間21分
第3回(平成29年) 2時間20分
第4回(平成30年) 2時間32分
第5回(令和1年) 2時間17分

● 中心商店街アーケード内における通行量の傾向

※上段左：今回(R1.8月)調査数値 上段右：前回比
下段左：前回(H30.8月)調査数値

平日：R1.8.19(月) 10:00～17:00(7時間)



第2回「艦隊これくしょん-艦これ-」 コラボイベント開催



昨年(平成30年)3月に佐世保地方創生イベント実行委員会(佐世保地域経済活性化推進協議会/佐世保地方創生プロジェクトチーム)が開催された「艦これ」コラボイベントでは、2日間でおよそ1万人ファンが参加され、ほとんどのお客様が市外からお越しいただきました。

今年、第2回目になるコラボイベントは大規模な取組みとなり、9月13日(金)~9月16日(月・祝)までの4日間開催となり前回の倍以上の人出となりました。

中心商店街をメインイベント会場とした取組みは話題となりました。佐世保に初めてお越しになられた方々は“佐世保には行きたかったが、遠いのでなかなか行けなかった”と言われる方が多く、“日本最西端のマチに来るためには強い動機付け(理由)が必要だと感じた”と実行委員会の方々も言われています。佐世保に来られた方々からは、食べ物や観光地だけではなく、佐世保市の人達が温かく迎えてくれたと感謝の言葉をいただいています。

人口減少にはなかなか有効な策を打つことは難しいと思いますが、佐世保の魅力を全国に発信することで、少しでも多くの方に佐世保に来ていただくこと、そして出来る限り佐世保に足を運んでいただき佐世保のファンになっていただくこと、「関係人口」の増加に取り組むことが必要と感じました。

「佐世保ならではの」イベントとして、これからの取組みのヒントになると期待ができます。

《西海学園吹奏楽部による演奏》



《飲食店とのコラボ》



《スタンプラリー》



● 商店街と個店が進む方向は？

昨年も掲載いたしました、「商店街」は**ステージ(舞台)**、「お店」はお客様の**サードプレイス(第3の場所)**となることが求められていると感じます。

商店街の魅力は多種多様な方が集まり、様々な出会いが起ころうにあると思います。“マチに行けば何かある”ワクワク感と期待を持たせる**まちづくり**にこれからは取り組む必要があると思います。

また、小規模・零細のお店が繁栄していく道は、お客様に**“この店は私に必要”**と提供していただくことではないでしょうか。「家庭」「仕事場」以外で自分の好きなモノや考えを**「共有」「共感」**出来る場所(仲間)が**お店(店主・店員さん)**だと思います。

商売の**「やり方」**だけではなく、商売の**「あり方」**も大きく変わってきています。

※「サード・プレイス」とは、コミュニティにおいて、自宅や職場とは隔離された、心地のよい第3の居場所を指します。